

先駆号

号外

共産主義者同盟統一委員会中央機関紙

先駆社
〒116-0012 東京都文京区神田駿河町
3-2-2、東京ビル内
(251) 7211, 7212.
豊島区田川
通1-3-16、万建ビル内 (302) 7283.

発行責任
共産主義者同盟統一委員会・政治局

編集責任
正木真一

ソウルの決死的デモに呼応し、戦う!!

「東京——ソウル」の一下モで日本韓土支配者に痛撃を
全都の労働者諸君！ 学生諸君！

日韓条約に反対して、南朝鮮の学生が決起した。今、斗つてりる。銃剣をも、戦車をものともせず、学生は怒りのデモを展開している。

一方、ベトナムでは、米の侵略は一矢はげしさを増しつつある。十四万の軍隊を送り込み、侵略の战火はハノイ東北56キロ、中日日境48キロのところにまでひろがられてゐる。又、佐吉保には核兵器潜水艦パリミットが

その不気味な姿を浮かべてりる。岩田飛行場には、F4Bファントム全天候爆撃機が配置され、B52は沖縄、板付を基地にしてゐる。

全都の労働者、学生諸君！

ソウル——ベトナム——沖縄——佐吉保。

帝國主義反動の黒雲が、アジアの全天空をおおつてゐる。

かかる情勢にあって、我々日本人民がなさねばならぬ任務は何か。

日韓条約に反対する我々の立場は、南朝鮮

の戦闘的デモに呼応することによって、その

あかしをたてねばならぬ。

米のベトナム侵略に反対する我々の斗争は

軍事物資の生産転送阻止、核潜艦反対、岩田

板付沖縄の基地化反対の斗争として具体化されねばならぬ。

斗つ労働者諸君！ 学生諸君！

南朝鮮の学生は日本帝國主義の再侵略に反対し、朴ファッショ政権に反対し、死にものぐるいで斗つてゐるのだ。二のキを見殺してはならぬ。東京でセキリの火アタを切るのだ！ ソウル——東京のデモで日韓条約を引っこぼせ!! そして日韓条約の破綻は、た

※核爆雷原潜寄港を粉碎せよ!!
※日本帝國主義の侵略と抑圧!! 日韓会談
※デモを抑圧する東京都公安条例を撤廃せよ!!
※公料金値上げ反対!!

だちに朴政権の崩壊と佐藤内閣の大動搖へと發展し、アジア反革命体制への巨大なくびきなるであろう。我々日本人民の任務と行動は、当然にセ全アジア的視野に立つことを要請される。

佐藤内閣は、10月12日で日韓条約批准のハラを固めてゐる。過剰生産に悩み、不況の進行に深刻化しつつある日本スルジョアジーにとって、朝鮮侵略は火急の必要事となりつてゐるのだ。日本スルジョアジーは、南朝鮮支配を突破口に、「夢み、もう一度」と再びアジア人民へその不吉な鎌首をもたげつつあることを我々は知らねばならぬ。

かつて、我々日本人民は、日本スルジョアジーの海外侵略に抗力して、そのおこぼれを期待するか、それとも全アジア人民と連帯して帝國主義に反対するか、ど二者のことをつきつけられ、侵略抗力に走ってしまった。日韓条約は、再びこの問題を我々につきつけているのだ。

労働者、学生諸君！

10月批准公会を粉碎せよ!! 米のベトナム侵略を許すな!! 日本の基地化——核潜入港を許さな!! 南朝鮮、ベトナム人民との斗争連帯のもと、日韓条約、ベトナム侵略を粉碎しよう。

（スローガン）

四章へ移行

A) 日本におけるマルクス主義の二つの流れ

日本帝國主義三十二文 (2). ルシツ

(1) 初期社会主义

。キリスト教社会主义

。社会主义と無政府主义

。大正事件。冬の時代

(2) 日本マルクス主義の形成

。A・B論争 大正 性、哲學、實証的個人論

D) 山川千之助の登場 (1922~25)

。山川千之助の登場 (1922~25) (アーヴィング著)

H) 福本イズムへの転換 介離結合論、理論斗争 (1925~26)

(3) 講座・新農の対立、 志願・赤松論争

(4) A子・席田主義論批判

(5) 鹿児・猪俣論争 (1926)

B(二) 山田理論の登場 32年十一月。日本資本主義発達史講座

(6) 新農派の思想

(7) 权力論

(8) 日本資本主義論

(9) 講座論

(10) 新農農業 (1926)

(11) 新農農業の現状

(12) 日本資本主義講座

(13) 講座農業の現状

(14) 共産党と講座派

(15) 講座派の現状

(16) 新農農業 (1926)

(17) 戦後にあける農講座派

(18) 志願・神山論争

(19) 新農農業 (1926)

(20) 植民地主論

(21) 講座派の現状

(22) 共産党と講座派

(23) 講座派の現状

(24) 新農農業 (1926)

(25) 講座農業の現状

(26) 戦後にあける新農派

(27) 新房農業のハタチ (1926)

(28) 戦後にあける新農派

(29) 志願・神山論争

(30) 新農農業 (1926)

(31) 植民地主論

(32) 講座派の現状

(33) 共産党と講座派

(34) 講座派の現状

(35) 新農農業 (1926)

(36) 講座農業の現状

(37) 戦後にあける新農派

(38) 新農農業 (1926)

(39) 植民地主論

(40) 講座派の現状

(41) 共産党と講座派

(42) 講座派の現状

(43) 新農農業 (1926)

(44) 講座農業の現状

(45) 戦後にあける新農派

(46) 新農農業 (1926)

(47) 戦後にあける新農派

(48) 新農農業 (1926)

(49) 植民地主論

(50) 講座派の現状

(51) 共産党と講座派

(52) 講座派の現状

(53) 新農農業 (1926)

(54) 講座農業の現状

(55) 戰後にあける新農派

(56) 新農農業 (1926)

(57) 講座農業の現状

(58) 戰後にあける新農派

(59) 新農農業 (1926)

1897 帝国議会

1905 分裂

1910 連合会

1912 三井会

1914 三井会

1916 三井会

1918 三井会

1920 三井会

1922 三井会

1924 三井会

1926 三井会

1928 三井会

1930 三井会

1932 三井会

1934 三井会

1936 三井会

1938 三井会

1940 三井会

1942 三井会

1944 三井会

1946 三井会

1948 三井会

1950 三井会

1952 三井会

1954 三井会

1956 三井会

1958 三井会

1960 三井会

1962 三井会

1964 三井会

1966 三井会

1968 三井会

1970 三井会

1972 三井会

1974 三井会

1976 三井会

1978 三井会

1980 三井会

1982 三井会

1984 三井会

1986 三井会

1988 三井会

1990 三井会

1992 三井会

1994 三井会

1996 三井会

1998 三井会

2000 三井会

2002 三井会

2004 三井会

2006 三井会

2008 三井会

2010 三井会

2012 三井会

2014 三井会

2016 三井会

2018 三井会

2020 三井会

2022 三井会

2024 三井会

2026 三井会

2028 三井会

2030 三井会

2032 三井会

2034 三井会

2036 三井会

2038 三井会

2040 三井会

2042 三井会

2044 三井会

2046 三井会

2048 三井会

2050 三井会

2052 三井会

2054 三井会

2056 三井会

2058 三井会

2060 三井会

2062 三井会

2064 三井会

2066 三井会

2068 三井会

2070 三井会

2072 三井会

2074 三井会

2076 三井会

2078 三井会

2080 三井会

2082 三井会

2084 三井会

2086 三井会

2088 三井会

2090 三井会

2092 三井会

2094 三井会

2096 三井会

2098 三井会

2100 三井会

2102 三井会

2104 三井会

2106 三井会

2108 三井会

2110 三井会

2112 三井会

2114 三井会

2116 三井会

2118 三井会

2120 三井会

2122 三井会

2124 三井会

2126 三井会

2128 三井会

2130 三井会

2132 三井会

2134 三井会

2136 三井会

2138 三井会

2140 三井会

2142 三井会

2144 三井会

2146 三井会

2148 三井会

2150 三井会

2152 三井会

2154 三井会

2156 三井会

2158 三井会

2160 三井会

2162 三井会

2164 三井会

2166 三井会

2168 三井会